

安 全 デ ー タ シ ー ト (SDS)

作成 2020年8月24日
最終改訂 2022年4月7日

1.【化学物質等及び会社情報】

製品
 製品の名称 アルタン薬用ハンドローション
 供給者情報
 会社名 アルタン株式会社
 住所 東京都大田区東糞谷3-11-10
 マーケティング室 開発企画課
 電話番号 03-3743-5705
 FAX番号 03-3743-5706
 緊急連絡先 同上

2.【危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分3
健康有害性	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
生殖細胞変異原性	区分1B
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器毒性(単回曝露)	区分3(気道刺激性・麻醉性)
特定標的臓器毒性(反復曝露)	区分1(肝臓) 区分2(神経)

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、
上記以外の項目は、現時点で「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気
 強い眼刺激
 遺伝性疾患のおそれ
 生殖機能または胎児への悪影響のおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ
 眠気及びめまいのおそれ
 長期又は反復曝露による肝臓の障害
 長期又は反復曝露による神経の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
 静電気放電や火花による引火を防止すること。
 個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 容器を密閉しておくこと。

【救急処置】

- 火災の場合には適切な消火方法をとること。
- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 飲み込んだ場合 無理して吐かせないこと。
- 眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合 多量の水と石鹸で洗うこと。
- 皮膚(又は毛髪)に付着した場合 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。医師の診断、手当を受けること。
- 曝露またはその懸念がある場合
- 飲み込んだ場合 直ちに医師の診断、手当を受けること。
- 目の刺激が持続する場合 医師の診断、手当を受けること。
- 気分が悪い場合 医師の診断、手当を受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報

国内法で規定のある場合、並びに、地域で規定のある場合はその規定に従う。

3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物

※本品はエタノールを含有するが、医薬部外品であるため労働安全衛生法における表示、通知対象には該当しない。

成分

化学名	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	労働安全衛生法	PRTR法
グリチルリチン酸ジカリウム		68797-35-3	(8)-502	通知対象外物質	非該当
アラントイン		97-59-6	(9)-199	通知対象外物質	非該当
エタノール	50.0	64-17-5	(2)-202	通知対象物質※	非該当
精製水		—	—	通知対象外物質	非該当
アロエエキス(2)		8001-97-6	—	通知対象外物質	非該当
ソルビット液		50-70-4	(8)-50	通知対象外物質	非該当
グリセリン脂肪酸エステル		123-94-4	(2)-669	通知対象外物質	非該当
ポリオキシエチレン・メチルポリシロキサン共重合体		非公開	非公開	通知対象外物質	非該当
ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		非公開	非公開	通知対象外物質	非該当
メチルポリシロキサン		非公開	非公開	通知対象外物質	非該当
高重合メチルポリシロキサン(1)		非公開	非公開	通知対象外物質	非該当
クエン酸		77-92-9	(2)-1318	通知対象外物質	非該当
クエン酸ナトリウム		68-04-2	(2)-1323	通知対象外物質	非該当
塩化ベンザルコニウム液	0.05	8001-54-5	(3)-2694	通知対象外物質	非該当
1,3-ブチレングリコール		107-88-0	(2)-235	通知対象外物質	非該当

4.【応急処置】

- 目に入った場合 こそらずよく洗い流し、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 大量の場合、催吐。ただし、幼児の場合、吐物を気管内に吸い込まないように注意する。必要に応じて医師の診断を受ける。

5.【火災時の措置】

- 消火剤 水、粉末、二酸化炭素、泡
- 使ってはならない消火剤 棒状放水
- 火災時の特定有害性 燃焼ガスには一酸化炭素など毒が含まれるので、消火作業の際は煙の吸入を避ける。
- 消火を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具(手袋、メガネ、マスクなど)を着用すること。

6.【漏出時の措置】

こぼれた場合は、すべりやすいため注意すること。
ふき取ってからから容器に回収すること。

7.【取り扱い及び保管上の注意】

取扱い 注意事項 転倒、落下、損傷がないように注意すること。
保管 適切な保管条件 高温や直射日光をさけること。

8.【暴露防止及び保護措置】

特段に記載する事項はないが、必要に応じて適切な保護具を使用すること。

9.【物理的及び化学的性質】

状態	液体	
色調	無色透明	
臭気	やや芳香あり	
味	やけるような味	
沸点	データなし	エタノール100%の場合 78.32°C(101.325kPa)
融点	データなし	エタノール100%の場合 -114.15°C
蒸気圧	データなし	エタノール100%の場合 5,878Pa(20°C)
蒸気密度	データなし	エタノール100%の場合 1.59
比重	0.900~0.930(15°C)	
pH	5.5~7.0(25°C)	

10.【安定性及び反応性】

化学的安定性 通常の保管・使用状態で安定。
避けるべき条件 高温・直射日光
混触危険物質 強酸化性物質
危険有害な分解生成物 データなし

11.【有害性情報】

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
成分のカットオフ値判定により、区分2とした。

生殖細胞変異原性
成分のカットオフ値判定により区分1Bとした。

生殖毒性
成分のカットオフ値判定により区分1Aとした。

特定標的臓器毒性(単回曝露)
成分のカットオフ値判定により区分3(気道刺激性・麻醉性)とした。

特定標的臓器毒性(反復曝露)
成分のカットオフ値判定により区分1(肝臓)、区分2(神経)とした。

12.【環境影響情報】

データなし

13.【廃棄上の注意】

内容物/容器の廃棄においては、関連法並びに地方自治体の基準に従うこと。

14.【輸送上の注意】

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
運搬に際しては容器を40°C以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積込み、荷崩れの防止を確実に進行。

国連分類 クラス3(引火性液体)

国連番号 1987 アルコール類

国内規制

航空法 規則194条 3 引火性液体(引火点60.5°C以下)

港則法 規則12条 危険物告示別表 引火性液体類(高引火点引火性液体)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

施行令 別表第1の2 13 有害でない物質

15.【適用法令】

薬機法(旧薬事法) 医薬部外品
危険物船舶運送及び貯蔵規則 引火性液体類(高引火点引火性液体)

本品はエタノールを含有するが、濃度が60重量%未満のため、平成元年3月1日消防危第14号・消防特第34号の通知により消防法における危険物には該当しない。

本品はエタノールを含有するが、医薬部外品であるため労働安全衛生法における表示、通知対象には該当しない。

16.【その他の情報】

記載内容の問い合わせ先
アルタン株式会社
住所 東京都大田区東糀谷3-11-10
担当部門 マーケティング室
電話番号 03-3743-5705
FAX番号 03-3743-5706

改訂履歴
作成 2020年8月24日
最終改訂 2022年4月7日

注意

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
 - ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
 - ・注意事項は通常の手配を対象としたものですが、特別な手配をする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
 - ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、手配には細心の注意が必要です。
 - ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。